

地球温暖化防止実行計画 I 平成 26 年度実績値

平成 26 年度の町内公共施設等の温室効果ガス総排出量実績値とその他の削減目標実績値

(1) 役場庁舎と庁舎以外の機関を含めた全ての組織及び施設（指定管理者制度、外部委託施設も含む）

■温室効果ガス（二酸化炭素）の排出実績

基準年度：平成 20 年度 2,725 トン

| 年度 | 排出量 (t) | 平成 20 年度比 |
|----------|---------|-----------|
| 平成 23 年度 | 1,455 | 46.6%減 |
| 平成 24 年度 | 2,489 | 8.7%増 |
| 平成 25 年度 | 2,841 | 4.3%増 |
| 平成 26 年度 | 3,001 | 10.1%増 |

■その他の削減目標実績値（コピー用紙） * 学校のコピー用紙は除く

基準年度：平成 20 年度 148 万枚

| 年度 | 使用枚数 (万枚) | 平成 20 年度比 |
|----------|-----------|-----------|
| 平成 23 年度 | 193 | 30.4%増 |
| 平成 24 年度 | 176 | 18.9%増 |
| 平成 25 年度 | 182 | 23.0%増 |
| 平成 26 年度 | 168 | 13.5%増 |

■その他の削減目標実績値（上水道使用量）

基準年度：平成 20 年度 87,460m³

| 年度 | 使用量 (m ³) | 平成 20 年度比 |
|----------|-----------------------|-----------|
| 平成 23 年度 | 39,967 | 54.3%減 |
| 平成 24 年度 | 63,554 | 27.3%減 |
| 平成 25 年度 | 68,725 | 21.4%減 |
| 平成 26 年度 | 76,870 | 12.1%減 |

(2) 被災施設等（給食センター、図書センター、遠山保育所、テニスコート、第1スポーツ広場、アクアリーナ、町民体育館、仮設住宅）を除外した施設

■温室効果ガス（二酸化炭素）の排出実績

基準年度：平成20年度 1,678トン

| 年度 | 排出量 (t) | 平成20年度比 |
|--------|---------|---------|
| 平成23年度 | 1,446 | 13.8%減 |
| 平成24年度 | 1,787 | 6.5%増 |
| 平成25年度 | 1,858 | 10.7%増 |
| 平成26年度 | 1,776 | 5.8%増 |

■その他の削減目標実績値（コピー用紙） *学校のコピー用紙は除く

基準年度：平成20年度 146万枚

| 年度 | 使用枚数 (万枚) | 平成20年度比 |
|--------|-----------|---------|
| 平成23年度 | 191 | 30.8%増 |
| 平成24年度 | 171 | 17.1%増 |
| 平成25年度 | 171 | 17.1%増 |
| 平成26年度 | 159 | 8.9%増 |

■その他の削減目標実績値（上水道使用量）

基準年度：平成20年度 48,128m³

| 年度 | 使用量 (m ³) | 平成20年度比 |
|--------|-----------------------|---------|
| 平成23年度 | 39,943 | 17.0%減 |
| 平成24年度 | 39,194 | 18.6%減 |
| 平成25年度 | 33,701 | 30.0%減 |
| 平成26年度 | 34,413 | 28.5%減 |

(3) 実績概要

上記のように温室効果ガス排出量は、全施設での実績値は 10.1%増加しており、被災施設等を除外した数値は、5.8%増加している状況です。

平成 27 年度における二酸化炭素排出量目標値の 2,588 トンに対し、平成 26 年度は 3,001 トンと、目標値より 413 トン増加（16%増）している状況であることから、目標達成にむけ、二酸化炭素排出量削減の取組状況を見直す必要があります。

二酸化炭素が増加した施設（増加率）については、役場（49%）、給食センター（61%）ゆめクラブ管理棟（2,263%）、サッカースタジアム（53%）、まつかぜ児童館（230%）、はまぎく児童館（43%）七ヶ浜中学校（49%）、テニスコート（2,151%）となっています。

増加の要因として、震災に伴う事務量の増により電気量やコピー用紙の増加が主であります。

また、給食センターは、改築に伴うオール電化設備による電気量の増加、ゆめクラブ管理棟は、仮設住宅周辺の街路灯設置と、車両増によるもの、サッカースタジアムは、イベントの増加と思われます。

七ヶ浜中学校は、仮設校舎エアコン設置に伴う電気量の増、はまぎく児童館は、利用児童数の増加、土曜日の利用増。テニスコートとまつかぜ児童館は、新設や増築に伴う電気量の増が理由と思われます。

一方、平成 23 年度より二酸化炭素削減、低炭素社会づくりによる、環境にやさしい町づくり推進のために取り組んでいる「みやぎ環境交付金事業」で、447 基の街路灯を LED に交換し、24 トンの二酸化炭素排出量の削減を図り、また、公用車には、環境にやさしい「ハイブリッドカー」「プラグインハイブリッドカー」や、大気を汚さない「低公害車」を使い、二酸化炭素削減を図っております。さらに、平成 26 年 9 月より役場・国際村にそれぞれ 20kW の太陽光発電システムを設置し、12 トンの二酸化炭素排出量の削減、クリーンエネルギーの推進を図りました。

(4) 今後の課題

平成 27 年度における二酸化炭素排出量の目標値達成のため、自分たちが仕事をしていく中で環境を守るために出来ることを考え、取り組んでいき、環境に関する認識をさらに深める事が重要となります。

たとえば、エアコンの設定温度を見直す。不要な照明は消す。省エネ型機器を選ぶ。エコドライブを意識する。日々の小さな節電でも、積み重ねが大切です。

また、二酸化炭素排出量以外の削減目標である、コピー用紙が 105%増と突出しているため、ミスプリントをなくし、両面コピーや裏面再利用の徹底に努めていただきたいと思います。

さらに、街路灯の LED 化事業、公共施設への太陽光発電システム導入により、地球にやさしいまちづくりのための事業を積極的に実施したいと考えます。